



2024年12月号



Watanabe Academy Gakugeidaigaku  
Watanabe Academy Senzoku  
Watanabe Academy Boston

# Santa Monica

<http://watanabe-academy.com>



The most important thing in communication is hearing what isn't said.  
「コミュニケーションで最も大事なことは、言葉にされないことに耳を傾けることだ」

—Peter Drucker (ピーター・ドラッカー)

今年もやっと肌寒い風が吹き始め『ハローウィン！サンクスギビング！クリスマス！お正月！』と行事の多い秋冬がやって来たと、ワクワクしながらもどんよりと曇った空をながめ、なんとなくわびしい気持ちになる季節の到来ですね。

今月は介護生活をしながらいろいろと考えさせられる事に出会い気をつけなければとつくづく思うことがありました。それは世の中急に発展して、『Zoomだ！Lineだ！Mailだ！』と気軽に便利に情報を伝えたり、得たりする事が出来るようになりましたが、全ての事にはプラスとマイナスがある様に、この便利な通信システムにも時々ぽっかりと穴があく事があるということです。

私の私生活での出来事で、家族の一人が病気で、介護を必要として施設に入所しています。今後についてお医者さんからお話家族や関係者が一同に集まりかなり厳しい状況だとの説明を聞きました。併しその時違和感を感じたのは、この深刻な説明がお忙しい方なのでしょう移動途中にZoomを使ってのOnlineで行われたのです。私もコロナ禍には、Online lessonを3年程やったのですが、対面Lessonで出来るコミュニケーションもOnlineではなかなか難しい点があり、歯がゆい思いをしたものです。それでOnline、メール、Line等では、対面とれるコミュニケーションの80%だと思っていました。例えば、Aさんが『痛い！』と言っているとBさんがCさんにMail、Line等言葉で伝えたとします。そうすると、まず問題なのは『Cさんが確実に読むかどうか分かりません。』次に読んだとしても[Aさんはどのように痛いのか]が伝わりません。対面で実際に会っていれば[一見は、百聞にしかず！]で、そのAさんの痛みは急を要するものなのかはその場で判断できますし、OnlineでのコミュニケーションもMail、Lineよりも少しは画面があるので伝わりますが、対面に比べればやはり80%ではないでしょうか！

前置きが長くなってしまいましたが、元々の話に戻ります。Online説明を聞いた一同は私達家族も含めて[透析等本人が嫌だという治療はもうする必要無い]と理解したのです。ところがこの話が、(最初の先生が電話でお伝えになったのですが)透析担当の先生に伝わると透析の先生から直に私に電話がかかり『透析科としては透析は続けられる状態であり、そう簡単にやめるものではない！』とのこと！二つに意見が出て来てどうすれば良いのかと担当している方々に混乱や誤解が生じてきたので、ここで、家族の希望をはっきりと伝える方が良いと思い、担当して頂いている方々に直接お目にかかって説明と希望を伝えるため、毎日バタバタと飛び歩きました。一体これはどうして起こったのかと言うとOnlineで説明して頂いたお医者さんは、実際直近での診察は無く電子カルテでの伝達で判断説明であり一方透析担当のお医者さんは週二回実際に診察して頂いているのです。ここに大きな違いがあり、その結果大きな穴が、開いたのです！

確かにスピーディーで便利な世の中になっていますが、機械に振り回されないで私達一人一人が人間である事を忘れることがないようにと考えさせられる出来事でした。

渡邊節子



## 12月

12日(木)2024年度第3回英検申し込み締切日

12月28日(土)~1月5日(日)冬季休業期間

※各教室にて異なります。

担当の先生のスケジュールをご覧ください。

## 1月

7日(火)英検ジュニア(2/1~2/8実施分)

申し込み締め切り

26(日)2024年度第3回英検 試験日



# News Topics: Writing

英検でのEssay、要約、Email問題は言うまでもなく、ここ数年で入試・各学校の定期テスト等で、英語のWriting(Essayや英作の問題)が増えてきています。将来的には、試験以外の場面でも頻繁に自分自身の意見を伝えるため、英語で表現することが求められるでしょう。

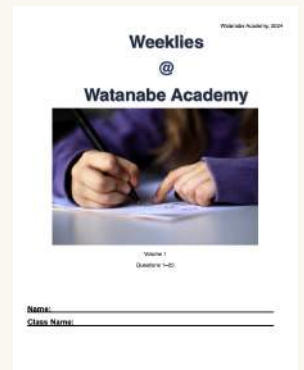
正しく伝わる、表現する英語を書けるためには、

1、文法力 2、日々頻繁に英語で文を書くことに慣れること 以上2点が必要です。  
その力を向上するために、ワタナベアカデミーでは以下のカリキュラムを取り入れ始めました。

## Weeklies

### Weeklies

毎回会話のレッスン内で3～5分、トピックに対して文章を書きます。トピックは”What is your favorite food?” “What is your favorite movie?” など答えやすいものを選んでいきます。毎回書く習慣をつけることで、Writingへの苦手意識をなくし、向上させることを狙いとしています。このWeekliesはアメリカのボーディングスクールでも毎週取り入れられており、最初は一文も書けなかった生徒さんでも、回数を重ねるごとに上達していくことが証明されています。



### パターン文法

毎回のレッスン内で10分程度、  
中学1年生～3年生レベルの文法問題に取り組みます。対象は英検3級を合格した小学生・中学生・高校生です。文法問題はbe動詞・文型・仮定法などジャンル別に分かれています。毎回取り組むことで、パターンとして正しい文法を理解できるようにするのが狙いです。

さらに、これまで学習した文法・スペリングの復習、定着にも繋がります。



## パターン文法



# Christmas Spelling Bee

12月16日から1月10日までのホリデーシーズン(冬季休暇期間は除く)

ワタナベアカデミーでは、会話レッスン内で

クリスマス・スペリング・ビー大会を開催します！

ホリデーシーズンのワクワク感を楽しみながら語彙力やスペリング力を楽しく向上させる絶好の機会です。ぜひご参加ください！



## 🎄 スペリング・ビーとは？ 🎄

スペリング・ビーは、アメリカ教育において継承されてきた伝統的な大会です。

1925年、ケンタッキー州ルイビルで初めて大規模なスペリング・ビーが開催され、

参加者は難易度の高い単語のスペルを次々と綴ることに挑戦しました。

その後、全米の学校で広まり、1941年に正式に「ナショナル・スペリング・ビー」として認定されました。スペリング・ビーは、学生たちに言葉の奥深さを伝え、楽しみながら英語を学べる機会を提供しています。スペリング・ビーは、やがて世界中に広まりました。

多くの国では、この大会を通して学生らに自信を育む場を提供することで、学習の楽しさを与え、忍耐力を培い、現在も開催され続けています。また、スペリング・ビーのクイズ形式はスペリングだけでなく、科学や地理など他の分野でも同じ形式が採用され、あらゆる分野の教育現場で楽しく競争しながら力を育むチャンスを与えています。

## 🎄 ビー(bee)とは？ 🎄

「ビー (bee)」という言葉には、面白い歴史的な意味があります。「ビー」は元々、中世英語で「共通の目的のために人々が集まる会合」を指していました。例えば、キルト作りや納屋の建設のための集まりを「ビー」と呼び、地域の人々が知識を共有し、協力し合う場として使われていました。スペリング・ビーも、言語を学ぶ喜びを分かち合い、参加者同士が切磋琢磨しながらお互いの成長に繋げていくというこの精神を引き継いでいます。

# GET TO KNOW ENGLISH TEACHERS EDWARD

2024年4月号以降、連載を中止していましたが、  
今月号から会話の先生へのインタビューを再開致します！！



**Q:** Could you tell us a bit about yourself?

**A:** Hi! My name is Edward Asis. I earned a PhD in Global Studies from Sophia University. In my free time, I enjoy marathon training and traveling. An interesting fact about me is that I grew up as a migrant in Doha, Qatar.

**Q:** What brings you to Japan, and what is your main purpose here?

**A:** I first came to Japan nine years ago as a Japanese language student at ABK College. I was fascinated by Japanese culture when I was younger—I remember watching Captain Tsubasa in Arabic back in Qatar and telling myself that I wanted to live in Japan someday. Now, my goal is to become a university professor here, teaching Global Health, Sociology, and Qualitative Research.

**Q:** Do you have any tips or advice for our students on improving their English skills?

**A:** I suggest reading different books and watching English movies to build your language skills. To get more comfortable speaking, try joining an English or public speaking club—most schools have one.

**Q:** What message would you like to share with the students at Watanabe Academy?

**A:** Remember to enjoy the journey as you work toward your goal. Focus on the joy of learning English, even if it's just a little bit each day. Before you know it, you'll find yourself fluent and confident in both speaking and writing!

**Q:**自己紹介をお願いします。

**A:**こんにちは！私の名前はEdward Asisです。今年9月に上智大学大学院のグローバルスタディーズ研究科の博士号を習得しました。自由時間には、マラソンや旅行を楽しんでいます。実を言うと、移民として6歳から16歳までカタールのドーハで暮らしていました。

**Q:**日本に来た目的はなんですか？

**A:**9年前、ABK大学の日本語学生として日本へやってきました。幼少期に日本文化に魅了されたことがきっかけです。カタールに住んでいた時、アラビア語でキャプテン翼を見て、いつか日本に住んでみたいと自分に言い聞かせていたことを覚えています。今、私の目標は国際保健、社会学、定性調査の分野を教える教授になることです。

**Q:**英語力を上達する上でワタナベアカデミーに通う皆さんに秘訣やアドバイスはありますか？

**A:**語彙力を高めるために、様々な本を読み、英語圏の映画を見ることをお勧めします。より流暢に話せるようになるためには、英語クラブ・パブリックスピーキングクラブに参加してみてください。どの学校にもあると思います。

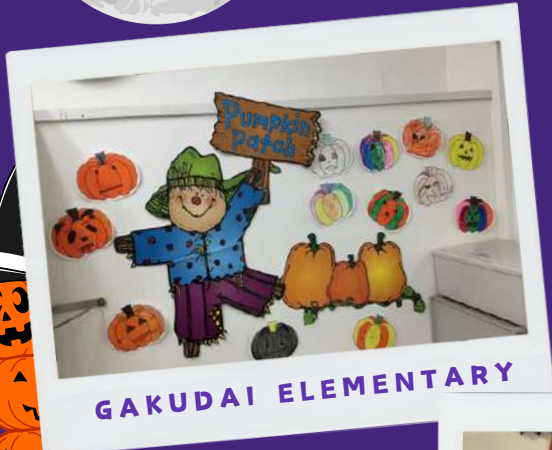
**Q:**ワタナベアカデミーの生徒に伝えたいメッセージをお願いします。

**A:**目標に向けて取り組む過程をぜひ楽しんでください。例えほんの少しの時間であっても、英語を学ぶ楽しさを味わってください。自分で気づかずに、英語を話すこと書くことにおいて上達し自信がつくでしょう。



# HAPPY HALLOWEEN

各教室ハロウィンの飾り付けをしました！  
ワタナベアカデミースタッフの  
腕前をご覧ください！



GAKUDAI ELEMENTARY



GAKUDAI ELEMENTARY



GAKUDAI JUNIOR/HIGH



GAKUDAI ELEMENTARY



GAKUDAI JUNIOR/HIGH



SENZOKU



SENZOKU



HALLOWEEN GIFT





# Energy Source

**If you think you can,  
You can**

Your mind is your real  
self—your real being.

There are more and more  
possibilities in nature,  
in the elements, in man and  
out of man;

and they come as fast as  
man sees and knows how to  
use these forces,  
in nature and in himself.

Possibilities and miracles  
mean the same thing.

— Prentice Mulford

もし君が出来ると思うならば、  
君は出来る

君の心が君の本当の自分—  
君の本当の自分自身

自然の中に、原理の中に、  
人間の中に又人間の外に。  
ますます多くの可能性がある。

そしてそれらの可能性は人が気づき、  
これらの力の使い方を知ると、

すぐにやって来る。

可能性と奇跡は同じことを  
意味するのだ。

— プレンティス・マルフォード

訳：渡邊節子